



京都大学

設置期間 2014年4月～2023年3月

寄附者 光亜興産株式会社

「地域の課題解決・地域価値の維持向上・地域活性化方策の立案」



教員

教授	松井啓之	特定教授	要藤正任
客員教授	吉田恭	客員教授	御手洗潤
客員教授	鎌田秀一	客員准教授	鈴木章一郎

目的

人口減少が進みマネジメント時代を迎えた我が国の都市において、地域の課題の解決、地域力や地域の価値の維持向上、地域の活性化のため官民が連携して取り組む方策について、研究・調査、教育及び普及啓発発信を行う。

講義

まちづくりとまち経営（経営管理大学院・公共政策大学院）担当講師及び実務家講師による講義及びまちづくりの現場のフィールドワークを行う。

研究会

官民連携まちづくり研究会

地域における良好な環境や地域の価値を向上させるための民による主体的な取り組みである「エリアマネジメント」について研究するため、産官学の専門家により構成された研究会。エリアマネジメントの展開や今後の発展の可能性と課題を明らかにし、我が国都市の持続可能な発展に貢献することを目的とする。

第1期研究会報告（官民連携まちづくり研究会報告（2015年7月））で取りまとめた全国的なアンケート調査に基づく現状分析や効果分析、今後の政策提言等を踏まえ、エリアマネジメントの今後のさらなる展開にむけた研究を進めていく。

シンポジウム

都市マネジメント時代の「民」が担う「公」のあり方
 —エリアマネジメントの発展に向けて—（2014.11.12）

全国エリアマネジメントトリレーシンポジウム

- ・第1回エリアマネジメントシンポジウム 2015 in 札幌（2015.9.10）
- ・第2回エリアマネジメントシンポジウム 2015 in 仙台
 —街を、育てる、カー（2015.12.15）
- ・第3回エリアマネジメントシンポジウム 2016 in 名古屋
 —ネットワークのカー（2016.4.20）
- ・第4回エリアマネジメントシンポジウム 2016 in 東京（2016.7.11）
- ・第5回エリアマネジメントシンポジウム 2016 in 福岡
 —九州からの発信—（2016.11.18）
- ・第6回エリアマネジメントシンポジウム 2017 in 関西（2017.1.23 - 24）
- ・第7回エリアマネジメントシンポジウム 2017 in Tokyo（2017.9.6）
- ・第8回エリアマネジメントシンポジウム 2018 in 広島（2018.5.8）
- ・第9回エリアマネジメントシンポジウム 2018 in 東京（2018.6.5）
- ・第10回エリアマネジメントシンポジウム 2018 in 渋谷（2018.9.27）
- ・第11回エリアマネジメントシンポジウム 2018 in Osaka（2018.11.6）
- ・第12回エリアマネジメントシンポジウム Knowledge Sharing Forum（2019.5.13）
- ・第13回エリアマネジメントシンポジウム 2019 in 大阪（2019.9.3）
- ・第14回エリアマネジメントシンポジウム 2020 in 竹芝（2020.9.25）
 ハイブリッドにて開催
- ・第15回エリアマネジメントシンポジウム 2021（2021.9.17）
 オンラインにて開催
- ・第16回エリアマネジメントシンポジウム 2022（2022.9.8）
 ハイブリッドにて開催



京都大学

設置期間 2014年4月～2023年3月

寄附者 光亜興産株式会社

「地域の課題解決・地域価値の維持向上・地域活性化方策の立案」



教員紹介



松井啓之 教授

専門分野
 計画理論、意思決定支援、ゲーミングシミュレーション
担当科目
 情報システム・オペレーションズ、統計分析
 ビジネスリーダーシップワークショップ ほか
Message
 理論や知識だけで、社会の問題を解決することは出来ません。しかし、理論や知識を持たずに問題を理解し、分析し、そして解決することも出来ません。基礎となる理論や知識を修得することが、問題解決能力を身に付ける近道です。



要藤正任 特定教授

専門分野
 地域経済、ソーシャル・キャピタル
担当科目
 まちづくりとまち経営
Message
 人々が集まり様々な経済社会活動を行う「まち」のクオリティを高めることは、よりよい地域社会を創る上で重要な課題です。そして、現状をよりよくするための政策を考えるには、現状を理解・分析しエビデンスに基づいて議論をしていくことが必要です。こうした視点に立って、皆さんとともにまちづくりを考えていきたいと思ひます。



吉田恭 客員教授

専門分野
 まちづくり、都市計画、都市政策
担当科目
 まちづくりとまち経営
Message
 まちづくりは、生活に密着したきわめて現実的な課題であるとともに、経済学、工学、法学、歴史など幅広い知識の動員が求められる知的刺激に満ちたテーマでもあります。今後、大きく変貌していくであろう日本の社会と都市のありようを想像しながら、この魅力的なテーマに挑戦してみましよう。



御手洗潤 客員教授

専門分野
 エリアマネジメント、まちづくり、災害からの復興
 景観・都市の緑
担当科目
 まちづくりとまち経営
Message
 まちづくりについて、人口減少という新たな局面を迎え、機能低下、老朽化、市街地の衰退等の課題を抱える中、国・自治体のみではなく、企業や住民、さらにまちづくり会社やNPO等の各ステークホルダーが、どのように連携・協働してマネジメントしていくべきか、学術的・実務的視点から一緒に学びましよう。



鎌田秀一 客員教授

専門分野
 都市計画、都市整備、都市環境・エネルギー
担当科目
 まちづくりとまち経営
Message
 急速な人口減少、少子・高齢化、地球環境問題への対応など、都市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化する中で、都市づくりの方向転換が求められていると思ひます。ハード、ソフトの様々な手法・ツールを活用した、持続可能な都市づくりを考えていきたいと思ひます。



鈴木章一郎 客員准教授

専門分野
 都市計画、まちづくり
担当科目
 まちづくりとまち経営
Message
 「まちづくり」の影響は、政策分野だけでも多くの領域に及んでいます。このため、人が幸せになる環境を作るのに、都市構造の仕組みに加え、まちで活動する人や団体の活動やその影響に目をこらしてどんな打ち手があるのか、一緒に考えていければと思ひます。